



今夏の電力不足に対し、節電へのご理解・ご協力をお願いします！

この夏、北海道内において、初めて▲7%以上（一昨年比）という数値目標を定めての節電をお願いすることとなりました。北海道における電力不足に対応するため、ご家庭の皆様、事業者の皆様におかれましては、節電へのご理解とご協力をお願いいたします。

なぜ、7%以上の節電をしなくちゃいけないの？



一昨年の夏
猛暑日の8月31日
18時～19時

506万kW
最大電力
記録！



注目

・今年も一昨年と同じ猛暑だったら、ピーク時に506万kW必要になる可能性がありますと仮定しました。
・でも、今夏の電力は最大485万kWしか供給出来ないのです。
・そうすると、不足分と最低限必要な予備3%を残した分が使える電力なので、この夏、一昨年比で▲7%以上の節電が必要となります。

不足分 ▲4.3%

485万kW
供給可能電力



最低限必要な予備 ▲3%

使用可能電力

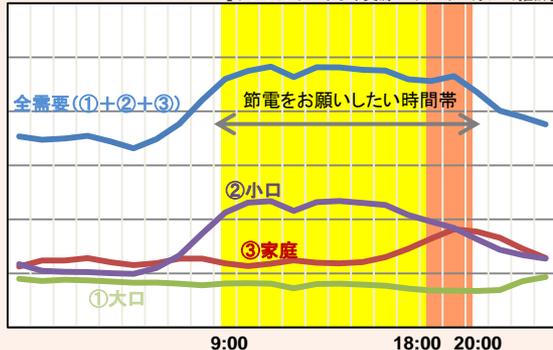


今夏は

いつ▲7%以上の節電が必要になるの？

★北海道の夏の1日の電気の使われ方

【サンプルデータより資源エネルギー庁にて推計】



★ピークを7%以上減らして！

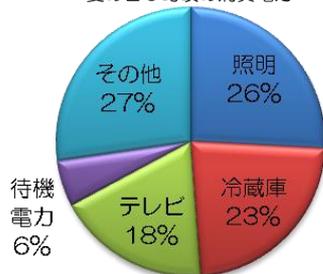
夏の北海道における平日の電気の総需要は、日中から夕方の長い時間帯にピークが継続することが特徴です。

※例えば、大口需要家は全時間帯変動がありません。小口需要家は日中から夕方にかけてピークを形成し、家庭では特に夕方18時～20時にピークとなっています。

【節電のポイント（家庭）】

★例えば、ご家庭では、夏にどんな電化製品を使っているのでしょうか？

北海道の家庭における夏の20時頃の消費電力



北海道では、エアコンの使用が少なく、特に家庭の電力使用が増加する夕方の時間帯は、**照明の節電が重要**です。

＜節電メニュー例＞

- ・照明の一部を消す。
- ・使用していない部屋の照明を消す。
- ・テレビの画面の輝度を下げる。
- ・テレビは必要な時以外は消す。
- ・冷蔵庫に食品を詰め込み過ぎない。
- ・冷蔵庫の扉を開ける時間をできるだけ減らす。
- ・エアコンの代わりに扇風機を使用する。 など

★照明の3割程度を消灯した場合の節電効果は削減率約7%

大変なご迷惑をおかけしますが、需給ギャップによる停電の発生を回避するため、ライフライン機能の維持等に支障が生じない範囲で、節電のご協力をお願いします。

「今夏の節電対策について」の詳細については
こちら <http://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/setsuden/index.htm>

★節電をお願いしたい期間・時間・節電目標

平日7/23～9/7 9:00～20:00
平日9/10～14 17:00～20:00 ● 数値目標なしの節電 ● 7%以上の節電
(お盆の8/13～15を除く)

北海道電力管内

| 7月 | | | | | | | 8月 | | | | | | | 9月 | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | |
| 29 | 30 | 31 | | | | | 29 | 30 | 31 | | | | | 30 | | | | | | |

【連載】環境・エネルギー
あんな取り組み こんな事例

北海道での環境やエネルギーの取り組みや国等の施策を活用した事業の活動状況とその後などをご紹介します。

**我慢しない省エネで
 快適なオフィス空間を実現！**
 <(株)ネイビーズ・クリエーション>

平成23年度「省エネ大賞」
 中小企業庁長官賞 受賞

活用制度：平成22年度住宅・建築物高効率工機・システム導入促進事業
 (建築物に係るもの)「EAST7ビル省エネ改修工事」
 平成22年度省エネルギー計測監視等導入事業補助金

～省エネ導入ストーリー～

- (課題) 同社が所有するテナントビルの空調設備が経年使用により効率低下。
- (検討) ビルに入居するテナントからも設備の改善要望があり検討を開始。空調設備のみではなく「オフィス環境の改善と省エネの両立」を目標に検討を開始。
- (結論!) 冬季の天井と床下の温度差から生じる「寒さ」の解消や、断熱対策を講じるとともに「我慢せず楽しく省エネ」が継続できる仕掛けの導入を決断。

～導入設備概要～

- * 室内空気強制対流システム
 - ・天井からのダウンフローにより空気を対流させることで、足下の温度が上昇。
- * 複層Low-E(低反射)ガラス内窓サッシ
 - ・断熱効果と防音効果で暖かく静かな室内を実現。
- * 駐車場天井への断熱材吹き付け
 - ・1階駐車場からの寒気の影響を低減。
- * 見える化システム(BEMS)
 - ・省エネ対策の結果を「見える化」



▲室内空気強制対流システム



▲見える化システム(BEMS)

～ここもポイント!～

- ・入居テナントと定期的に「省エネ勉強会」を開催。
- ・省エネ活動報告や計測データをブログへ自動投稿し省エネを「見える化」

～省エネ効果～

エネルギー使用量(原油換算値)を約7.2k1削減(導入前比:18.7%削減)
 <担当:エネルギー対策課>

第34回神恵内村沖揚げまつり
 7/1(日) 爆発サイエンスパラディ
 まんまとKASAの開催します!
 おもしろサイエンスショー & エネルギーLAB
 楽しい実験がいっぱい!

ご案内 平成24年度「省エネ大賞」の募集開始しました!

(一財)省エネルギーセンターでは、平成24年度「省エネ大賞」の募集を開始いたしました。

本事業は、優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰し、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的としています。

【応募対象】

国内の省エネルギーを推進している事業者及び省エネルギー性に優れた製品又はビジネスモデルを開発した事業者

本年度は上記の取組の中から、特にピーク電力の抑制・ピークシフト等「節電に効果のあった事業者」も表彰します。

(事業者には、産業・業務・運輸部門に属する企業、工場・事業場のほか、自治体、教育機関等も含む)

【応募区分】

1. 省エネ事例部門
2. 製品・ビジネスモデル部門

【応募期間】

平成24年5月21日(月)～7月20日(金)

【問い合わせ先・応募要領】

(一財)省エネルギーセンター省エネ大賞事務局

<http://www.ecci.or.jp/bigaward/index.html>

<担当: エネルギー対策課>



夏季の省エネルギー対策について

～6月から9月は夏季の省エネキャンペーン～

エネルギー消費が増加する季節である6月から9月までの期間において、夏季の省エネルギー対策の推進をお願いいたします。

省エネルギーについては、日頃からの持続的な取組が重要です。

特に今夏においては、電力需給対策と一体となる形で、一人一人が節電・省エネルギー対策の実践の大切さに気づき、身近で気軽に行えることから取り組むように心がけましょう。

当局においても、夏季の軽装及び照明の間引きなどの省エネ・節電行動に努めてまいります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/summer12/index.htm>

<担当:総合エネルギー広報室>